

会期 3月2日から3月20日

- ※計画変更等……………2件
- ※条例制定……………4件
- ※条例改正……………8件
- ※補正予算……………9件
- ※27年度予算……………6件
- ※指定管理者の指定……………2件
- ※関係機関への意見書提出……………3件

### 3月定例会のポイント

平成27年第1回定例会（3月）は、主に4月から始まる新年度予算の審議をする議会です。普通会計、特別会計（国保・後期高齢者・下水道・農集排）、水道企業会計の予算案を、予算特別委員会で集中審議し、全会計を可決しました。

また、子ども子育て関連法案に伴う保育所等の条例制定や、神城断層地震に伴う補正予算などを審議しました。災害復旧に伴う国庫事業が固まらないため、翌年度への繰越事業費については臨時議会を開いて審議することになりました。

平成27年度は災害復旧事業に集中しており、総予算額も大きくなっています。

### 予算特別委員会

#### ●議案第20号 平成27年度白馬村一般会計予算

歳入歳出予算総額を66億8200万円とするもの。災害復旧関連経費の計上もあり、予算総額は前年比17億7600万円、36・2%の増。

歳入では村税13億1420万円、対前年2・3%の減。地方交付税16億5250万円で対前年1・5%の増。村債6億9180万円で対前年11・2%の増など。

歳出では、災害復旧事業費16億8081万円。災害復旧を優先のため普通建設事業（ハード事業）2億7629万4千円で対前年58・4%の大幅な減。

総務課関係では、白馬高校支援事業に1523万4千円、ふるさと納税寄付者への返礼品の

経費400万円、平成28年度からの第5次総合計画策定事業に527万円、堀ノ内の消防積載車更新に760万円など。

**問** 白馬高校支援事業負担金の小谷村との負担割合は。

**答** 白馬山麓環境施設組合の負担割合に準じて、67対33、概ね2対1で計上している。

税務課関係では、歳入の村税では平成27年度は固定資産税の評価替えの年にあたることや、震災による減免などの影響を見込み、前年度比3108万9千円、2・3%の減だが、滞納処分強化を図り、村税延滞金などは増額で見込む。歳出ではインターネットからのクレジット決済の整備経費42万2千円、固定資産税の地番図作成委託料を1107万7千円。滞納整理のための搜索・公売関係委託料を453万6千円など。

**問** 今年の公売の状況は。

**答** 震災の影響で遅れたが、4月以降に順次行う計画をしている。

住民課関係では、震災による半壊以上の住家及び非住家の解体に要する費用として災害廃棄

物処理費用に2億1800万円など。

農政課関係では、被災農地の管理委託料50万円、被災農家支援負担金150万円、特産品開発事業は232万円。有害鳥獣対策事業997万1千円など。地籍調査事業の1883万3千円は、震災の影響で基準点がずれたため、25年度、26年度事業の測量成果を見直す作業を27年度で行う。

**問** 被災農家支援負担金の内容は。

**答** 耕作不能農地に対して、1反歩あたり7500円を耕作者に支払うもので、被災農地管理委託料は、利用権設定がある農地が耕作不能であるときに、借地権者に畔刈りなどの管理費用を支払うものです。

#### 意見

農地の復旧について村がすべて負担すると早々に方針をだしたが、住む人が居てこそその農地なので、農地と同じように、宅地に対する方針をだしてもらいたい。

#### 行政側意見

宅地は個人で対応してもらいたい。信州大学の報告で、建築方法である程度の地震は対応でき

ると理解されたと思う。ポイントを絞ってのボーリング調査などはしていかなければと思う。

建設課関係では、道路維持補修工事に900万円、行政区への原材料費700万円、除雪委託料1億7500万円など。道路新設改良費は、災害復旧に予算を集中し、前年度比2億799千円の減額。

**問** 災害復旧工事の予定は。また冬期の工事は。

**答** 8月くらいまでに発注を終わらせ、工事を進めたい。冬期の工事は品質管理が難しい。

教育委員会、教育課関係では、共同調理場の設計管理委託料に2000万円、私立高等学校等通学補助金25万5千円、幼稚園就園奨励費補助金688万8千円、北小学校のつり天井改修工事費2700万円、中学校のICT教育に関するリース料503万9千円、伝統的建造物群保存事業では修理補助金900万円、同災害復旧費2140万円など。